



寿サロン 視察旅行

10月12日(水)に3年ぶりとなる視察旅行が行われました。寿サロンの会員13名を含めた総勢23名を乗せたバスは新東名で御殿場へ。

まずは秩父宮記念公園を見学しました。入口には約1000本ものヒノキ林があり、爽やかな空気の中ガイドさんによる公園の説明、そして園内に咲いている色とりどりの草花の紹介、記念館の見学をしました。

標高約500メートルにある庭園では、両殿下が愛された山野草が多くあり、普段なかなか見ることができない花に、みな熱心に見入っていました。

また、園内にある防空壕も見学し、当時何度が避難された事や戦時下、食糧難で菜園を増やし自給自足をされていたことを聞きました。

お昼ご飯をすませた後は富士サファリパークへ。平均年齢が80歳に近いメンバーはサファリパークを訪れるのも何十年ぶりという方々ばかり。バスの中から見る動物たちに「あそこ、いるいる」と声をあげていました。久しぶりの旅行で会話にも花が咲き、笑顔で地区センターに帰ってきました。

寿サロン

9月14日(水)、お楽しみ会が行われ17名が参加しました。牛乳パックを利用した竹とんぼ、折り紙でつくる箱と、紙飛行機を作りました。難しい手順はなくても、普段やりなれていない作業に四苦八苦。みんな協力しながら完成させ出来上がりしました。出来上がった竹とんぼと紙飛行機はそれぞれ飛ばし、飛距離を競いました。

11月9日(水)手芸教室が開催され、大岡文化祭に出展するための作品を作りました。今回は来年の干支であるウサギのモチーフを貼り付けた短冊です。21名が参加し、紙をボンドで貼る作業を繰り返し、細かい部品もあり、なかなか思うように貼れず、時間はかかりましたが、みな時間内に完成することができました。



ボランティア 研修旅行

10月28日(金)食事ボランティアさんと、地区社協メンバー20名で研修旅行へ行きました。今回のメインは居場所づくり成功し、ニュースにも取り上げられている富士宮市黒田地区での講習会です。地域の自主活動の居場所をどのようにして立上げ、どんな問題を乗り越えてきたのか詳しく教えて頂きました。

人が集まるには、まず温かな雰囲気のできる場所にするのが大切です。

『笑顔・仲間・待ち遠しい明日がある』事が、地域で暮らしていくことに必要なこと。そして、居場所づくりを支えるボランティアさん達は「認知症の人に優しい街にしたい!」と、活動をはじめ、次第に仲間が増え、今では20名になるそうです。地域の役に立てるならと自ら集まってくる点に、黒田地区の温かさを感じました。

その後、盲導犬の里「富士ハーネス」を見学。富士宮浅間大社を散策し、富士山世界遺産センターの見学や、地元の商店街巡りをし、実りのある一日を過ごしました。



大岡中学校 福祉体験

10月19日(水)大岡中1年生を対象に福祉体験授業が行われました。市社協主催によるこの授業では、実際に車いすを操作し、体験を通して「できる事と、難しい事」を学び、困っている人がいる場面では積極的に動くことが出来るように、そして、被介護者が安心できる支援の在り方を考えられるようになることがねらいです。

実際に操作した生徒は、段差の乗り越え方や、疑似ぬかるみでの操作のコツを覚えてもらいながら、乗り手の気持ちを考え丁寧に車いすの操作をしていました。



徘徊高齢者等見守り模擬訓練

9月24日(土)大岡公園で行われたローカルマーケットにて、きせがわ地域包括支援センターによる「徘徊高齢者等見守り事業」の実演紹介が行われました。

認知症の人が安心して暮らせるまちづくりを目指して、沼津市役所長寿福祉課で推進している事業で、徘徊してしまった人に付いているQRコードを読み取ると保護対象者情報を共有できるというシステムです。

実際に保護対象者を見つける事ができた実例がありますが、まだまだ知っている人が少ないので、大きなイベントでチームオレンジ大岡の協力のもと、実演紹介をさせていただきました。立ち寄っていただいた方の中には、高齢の親に使うことを検討したいという方もいました。



出店の様子



模擬訓練 実演中

各町内いきいきサロン

平和郷

9月9日(金)平和郷公会堂にて、きせがわ地域包括支援センター看護師・松下さんによる「フレイル・サルコペニアを予防して健康寿命を伸ばしましょう」というテーマで出前講座を開催しました。11名が参加し、皆さん熱心に耳を傾け資料に書き込む姿が見受けられました。輪っかテストや口腔体操・フレイル予防体操などを行い、楽しみながらフレイルについての理解を深めました。

10月27日(休)沼津警察署から全国交通事故・県内の交通事故件数ならびに、交通安全指導員から10月26日現在の沼津署管内の死亡事故の現状説明がありました。特に高齢者は道路を横断し終わる時の事故が多いとのこと。

また、自分の俊敏性を機材で測定し、見え方の確認をする体験をしました。



沼平町 10月1日(土)

美空ひばり そっくりショー

〜笑いで感じる繋がりが〜

テレビでよく見るお笑い物真似そっくりさんをイメージしていたが、歌い始めると、透き通った高音をすばらしい歌唱力で歌い上げ、皆、フリーズしたように微動もせず聞き惚れていた。

合間のトークは、ご自分の歴史や家族のエピソードを交え、とても思い出に残る時間であった。

また、海外の女性グループの歌「You raise me up」もレパトリリーの中にあり高音、中音で歌う二重音程の歌い方で魅了後、この歌のタイトルの説明では、「家族や地域で支え合う」との事。正に今回の「いきいきサロン」のテーマの目的「共助」であり、皆で「共助」の大切さを感じた時間でもあった。



大岡で活躍する人

大岡南小スクールガード

木瀬川在住の遠藤寅吉さんは、昭和4年生まれの93歳。長年地域のために活躍。老人会、神社の清掃などをし、スクールガード歴は15年。

雨の日・夏の暑い日・冬の寒い日も休まず、登下校の小学生の見守りをして、地域のために奉仕しています。



スクールガードを始めた頃の小学生が、今は大学生または、就職して立派な社会人として活躍している姿を見ると、体の元気なうちは、これからもできる限りがんばりたいと、話してくれました。



▲子供たちからは「じゃんけんおじちゃん」と呼ばれ親しまれています。

【開催日時】 令和4年10月30日(日曜日)
8:30～12:30(受付8:00～11:00)

【会場】 大岡南小学校(グラウンド・体育館)

今回、初めての試みとして【大岡スポーツフェス】が行われました。当日は天候にも恵まれ、参加者は好きな時間に会場に訪れ、各自治会・各団体・大中学生が担当している20ヶ所の競技ブースの中から自由に競技を選び、挑戦しました。そして、競技の最後には、小学生から大人までの白熱した戦いの校区対抗綱引きが行われ、大岡小校区が勝利！閉会式後には、各ブースを回って集めたスタンプ(3つ以上)でのプレゼントの抽選会と記念撮影を行いました。

コロナ禍の中、楽しく、ご自分の体力に挑戦する良い機会になったのではないのでしょうか？皆様、本当にお疲れ様でした。(※関係者・参加者で804名)

大岡スポーツフェス



開会式



50メートル走(担当 高田)



立ち幅跳び(担当 大岡団地)



受付



垂直飛び(担当 沼平町)



スポンジボール投げ(担当 日吉)



握力測定(担当 木瀬川)



長座体前屈(担当 太田町・富岳町)



スリッパ飛ばし(担当 大岡駅前町)



反復横跳び(担当 中石田)



輪投げ(担当 上石田)



ポッチャ(担当 下石田)



フラフープ(担当 平和郷)



(箸つかみ) 小豆運び(担当 富士町)



スポーツチャンバラ(担当 南剣道)



トリプルシュート・ナインボール(担当 大岡南小ミニバス)



ストラックアウト (担当 バレー)



フリースロー (担当 大岡ダイナミクス)



キックターゲット (担当 サッカー少年団)



長座体前屈 (担当 太田町・富岳町)



スポーツチャンバラ (担当 南剣道)



モルック (担当 専門部)



50メートル走 (担当 高田)



(箸つかみ) 小豆運び (担当 富士町)



ミニゴールバスケット (担当 大岡南小ミニバス)



各ブース受付の大学生



飲み物引換所の大中学生



飲み物引換所の役員



本部



小学生から大人までの校区対抗綱引き (担当 体育部)



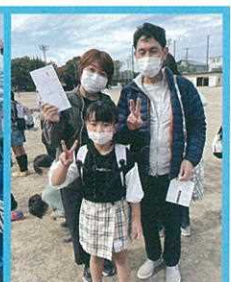
ゴール受付の大学生



会場警備の役員



歓喜の胴上げ



閉会式後

第40回 大岡文化祭

日時 令和4年11月12日(土)～13日(日)

9時～18時 (13日は15時まで)

会場 大岡地区センター・駐車場

大岡小学校グラウンド

主催：大岡連合自治会

大岡コミュニティ推進委員会

大岡地区社会福祉協議会

主管：大岡文化祭実行委員会



前日までの会場準備



当日のテント張り



会場の警備



会場入口



信州産物即売



福祉展 (いきいきサロン)



福祉展 (寿サロン)



草月流華道教室



書道



日本画教室



大岡地区社協【体のこげつき検査】



保育園・幼稚園の絵画



大岡小学校



大岡南小学校



大岡中学校



大岡中PTA・吊るし雛・英語教室



絵手紙サークル



アメリカンフラワー



ラッピング



一般作品

令和4年度 芸能祭り

日時 令和4年11月12日(土) 10時～15時
会場 大岡小学校 体育館

主催 大岡連合自治会
主管 教育文化部



長野市大岡の皆様のご紹介



岳東保育園(鼓笛隊演奏)



大岡寿大学 大正琴



和会



中山流・ひまわり会



新大岡舞踊の会



大岡舞踊の会



大岡女性コーラス



大岡チャイムの会



大岡小すみれクラブ



大岡団地すいよう会



日吉 太極拳



日枝寿大学 瑠璃の会



大岡中吹奏楽部有志(指揮は玉内教育文化部長)



岡っ子太鼓のDVD放映

紅葉の季節を迎え、3年ぶりに開催された【大岡文化祭・芸能祭り】は感染予防を徹底して、それぞれ、日頃の練習の成果を披露しました。下の写真は11月13日の9時～11時30分到大岡小グラウンドで行われた【大岡文化祭の消防防災展】の様子です。子供連れの家族が楽しく学んでいる姿が印象的でした。関係者の皆様・参加者の皆様、2日間、本当にお疲れ様でした。※【大岡文化祭・芸能祭り】の11月12日 来場者1056名・11月13日来場者432名



沼津市消防団 北部ブロック表彰式

10月16日(日)10時より、大岡地区センターにおいて、沼津市消防団北部ブロック(大岡・大平・愛鷹・金岡)の表彰式が行われました。大岡連合自治会長・門池連合自治会長・沼津連合をはじめ、各方面隊役員が臨席のもと、大岡方面隊では前第20分団長の鈴木貴博さんと前第22分団長の井口真一さんが表彰されました。長い間、本当にお疲れ様でした。これからも宜しく願います。



▲沼津市消防団北部ブロックの表彰式

▲前第20分団長 鈴木貴博さん
前第22分団長 井口真一さん

令和4年度 市政功労者の表彰

〔自治功労〕 渡辺良博さん

沼津市地区委員および地区連合自治会副会長として地域の復興に積極的に取り組まれ、自治会活動をはじめとした地域住民活動に率先して参加し、経験に裏打ちされた広い知識により、指導力を発揮されています。

〔社会福祉功労〕 青木肇子さん

人権擁護委員として、基本的人権の擁護に尽力するとともに、人権啓発活動に取り組み、その功績は誠に顕著です。

令和4年度 高田まつり

毎年9月の第2土・日に開催されていた高田まつりは、ここ3年は神事のみで行われていた。今年度は満を持して、9月18日(日)に3年ぶりに例年通りの開催に向けて準備を進めていたが、新型コロナウイルスの感染状況等を鑑み、急遽、今年度も、こども神輿・売店・福寿会の花の販売等を中止して、神事のみを日枝神社の宮司さんにて執り行われた。当日は台風14号の接近もあり、天候の悪い中、高田自治会役員の約20名が参加した。

「小さな祠でも毎年、小さい子からお年寄りまで高田の皆さんが集まって祭典を開くことが大事です。来年は開けるといいですね」と、日枝神社の宮司さんから、お言葉をいただいた。

〔第六天神社〕

歴史は古く、「古事記」や「日本書紀」にも出てくる。元々は神仏習合の神様だったが、明治維新の神仏分離の際、第六天神のオモダル・アヤカシコネに祭神を変更した。ご利益は、美容や技芸上達、夫婦円満、金運、恋愛運、学業運、仕事運など、人間のありとあらゆる願いをかなえてくれるありがたい万物創造の神様である。

〔子安神社〕

伝承によると、昔、この近所に綿屋という家があり、行き倒れた妊婦さんをお告げにより祀ったという。以来、この神社は安産の神様、子供の神様として信仰があり、第六天神社の祭神と一緒に祀りされている。



日枝神社祭典・日吉秋まつり

令和4年9月23日(金)24日(土)に日枝神社祭典(日吉秋まつり)が開催されました。3年ぶりとなりましたが、新型コロナウイルス感染防止のため規模を縮小して行われていました。当日は雨のため、当初予定されていた日吉自治会館での出店・子ども神輿と踊り・大岡公園での夜の部の神事は中止となり、神事のみが執り行われました。神事は23日の13時より日枝神社の宮司さんによる祝詞奏上が行われ、この地区のお清めをしていただきました。なお、踊りは中止となったものの、急遽23日の10時より自治会館にて踊りを披露する場を設けていただいたおかげで、これまでの練習の成果を発表することができました。

予定通りに行かないところもありましたが、無事に開催できたことを関係者の皆様に感謝します。来年こそは通常通りの開催ができることを祈っています。



▶神事の様子



▶踊りの様子

日吉秋まつり(夜の部)

令和4年10月15日(土)、大岡公園にて日吉秋まつりの夜の部が開催されました。これは本来9月23日の日枝神社祭典と一緒に行う予定でしたが、雨で延期となっていたため、待ちに待った開催となりました。

17時より自由参加の踊りから始まり、ビンゴ大会、花火大会とイベントが目白押しで大いに盛り上がりました。

参加された皆さんは秋の夜長に祭りの雰囲気十分に満喫されていました。



▶お祭りの様子



▶花火大会の様子

秋の交通安全週間「各町内にて通学の見守りと指導を実施」
9月21日(水)～9月30日(金)



▲芝浦機械正門前(高田)



▲大岡地区センター(中石田)

木瀬川ふるさと祭り「秋の例大祭」

10月1日(土)午前11時から参加者26名(当番町・5町内氏子代表・関係団体)で、コロナ禍の中のため、今年も「ふるさと祭り」は中止(3年連続)でしたが、日枝神社宮司を迎え、厳かに神事のみが行われました。

「木瀬川八幡神社略歴」

(境内36489坪、13等級)
治承4年(1180)、源頼朝は平家の戦い「富士川の合戦」で木瀬川に陣を張りました。木瀬川開祖と言われる大古田家は大地主として名主を務める家柄であり、当時、頼朝の陣屋の一つに使用され、当時の当主の大古田半左衛門が八幡大菩薩の石像とお墨付をたまわりました。半左衛門は所有地の隅にお堂を建て祀りました。

明治維新に、この神社は村に寄附され、御神体は当主の昇九郎が持参したため、長い間、御神体のない神社といわれています。

昭和23年、須磨・鈴木・中山の3氏の尽力により、鎌倉鶴岡八幡宮より御神体を授かり、現在にいたります。なお、末社には山神社などが祀られています。また、元禄六癸酉年九月「1694」の灯籠があります。



▲神事風景

▲境内社

令和4年度 中石田秋祭り

10月9日(日)9時30分より、神明神社境内において、3年ぶりの中石田秋祭りが開催。参加者には体温チェック・マスク着用・手指消毒を呼びかけ、初めに子供神輿のお祓い、出発式が行われ、元気な子供たちの声が境内に響きわたり、町内巡行へ出発。そして、日枝神社の宮司さんのもと、関係者による例大祭式典が行われた。子ども会による子供神輿は小学生34名が参加で、消防・役員・保護者の方々の先導で、町内1周を2時間かけて練り歩き、子供たちからは「疲れたけれど楽しかった」との声。また、各売店はどこも賑わい、特に女性部の唐揚げ・団子・子ども会の射的は行列が出るほどで、抽選券当選発表やゲーム大会もあり、大盛況のお祭りとなった。

今回の子供たちのいきいきとした笑顔から改めて行事の重要性を感じた。



沼平町自治会 秋祭り

ちよつとひんやりと感じる土曜の朝、役員一同は広場に集合し、会場の設営に取り掛かった。

従来は8月の第1・2週の土曜日に行われていたが、酷暑と言われるほどに異常な高温となる期間を避け、爽やかな10月中旬以降の土曜日に、沼平町自治会 秋祭りを実施した。また、第7波のコロナ禍の収束を考えると、この時期が最適と考えられた。

3年ぶりの祭典を終え、出足は少しの感はあるが、密になる事を考えるとプログラム選択は限定された。開催コンセプト「皆の集いの場所『沼平町祭典』を実施し、地域コミュニティの繋がりを改めて感じてもらう」ことが少しでも出来たのであるうか?



下石田 花火大会・キッズイベント

令和4年10月22日(土)15時から大岡南小でキッズイベント、19時からは花火大会を開催しました。コロナ禍で見送られた下石田秋まつりの代わりに、子供たちを笑顔にするために計画し、無事に開催。当日は希望者の親子約240名が参加。体育館での最初のキッズイベントは、大会で全国優勝のチーム「C★STAR Tigger」がテンポの良い曲でキレのあるチアダンスを披露して、次はビンゴ大会と「ぬまんづ・おかずクラブ・5GAP」の3組の芸人さんのお笑いライブ。最後は出演者全員と子供たちの集合写真のサプライズで大喜びの子供たち。そして、19時からは大岡南小のグラウンドでの花火大会。大きな音の後に火の玉が上がり、秋の澄んだ夜空の大きく綺麗な花火に観衆は大興奮。最後は空一面のスターマインが明るく地面を照らし、10分間の目の前の綺麗で迫力ある花火に感動しました。

今回の花火大会・キッズイベントの開催で、沢山の人が笑顔になりました。



修学旅行（大岡小・南小）

10月に一泊二日で6年生が東京方面に修学旅行へ行ってきました。

一日目は上野恩賜公園から始まり、浅草散策、国会議事堂見学をしてホテルに宿泊。

二日目は皇居外苑を周り東京タワーに上って景色を堪能、別のホテルでランチビュッフェ、最後はよみうりランドを存分に楽しみました。

「浅草の人の多さに驚いた」、「ホテルでのお友達との時間が楽しかった」、「ジェットコースターも楽しかった」と仲間との友情を深め、心に残る楽しい思い出ができた二日間でした。



▶大岡小



▶南小

自然教室（大岡小・南小）

10月に5年生が桃沢野外活動センターで自然教室を行いました。

各班に分かれて水神社までウォークラリーをし、火起こし、キャンプファイヤーを体験しました。

「火起こしに手間取ったけど、木の組み立てをみんなで協力して考えた」、「みんなで食べるカレーは最高だった!」という声があり、野外での活動を通して自然と親しみ、思い出に残る自然教室になりました。



▲大岡小



▲南小

社会科見学（大岡小・南小）

9月に大岡小3年生が「しずてつストア大岡店」へ、10月に大岡南小4年生が「静岡県庁・登呂遺跡」へ社会科見学に行きました。

大岡小の子ども達は、お店の方からの話に真剣に耳を傾け、店内の様子や工夫、働く人の仕事内容や思いなどについて学習しました。

南小の4年生は普段入る事の出来ない県庁や、登呂遺跡などを見学。教科書で見るだけでなく実際に現地で見学することで、昔の人の暮らしを目の前で体験する事ができました。



▶大岡小



▶南小

校区探検・沼津駅見学

10月に大岡南小学校の3年生が南小校区内探検をしました。木瀬川や下石田・日吉・大岡団地・平和郷の神社や遺跡を周り地域の歴史に触れる事ができました。

また10月末には2年生が沼津駅見学に行きました。子ども達は普段あまり行くことのない駅を見学。とても貴重な体験が出来ました。



校区探検・沼津駅見学ともに多くのボランティアの方のおかげで無事に行うことが出来ました。



大岡小 練りきり体験

令和4年9月25日(日)、大岡小研修部主催『練りきり教室』が開催されました。

お菓子処ヤマモト様を講師に招き、83名の親子が練りきり体験を楽しみました。

親子で相談しながらオリジナルの練りきりを完成させると「かわいい!」「見てみて!」と子ども達の嬉しそうな笑顔が見られ、親子での楽しい思い出ができました。作った練りきりも美味しくいただきました。



親子防災キャンプ

令和4年10月1日(土)から2日(日)にかけて大岡小と大岡南小合同で『親子防災キャンプ』が大岡小グラウンドにて行われ、「もしも」の時に備えて防災食やサバイバルフードを食べ、グラウンドに張ったテントで寝る体験をしました。

防災食は「意外においしい!」と好評で、他にも子供も大人も楽しめる遊びも用意され、普段できない体験を通して家族との絆や、親同士の親睦を深めることができました。



ふれあい祭り 親子ミニ運動会

令和4年11月5日(土)、大岡小グラウンドにて大岡小PTA主催『親子ミニ運動会』が行われました。

参加親子総勢72人が6チームに分かれ、大岡小PTA伝統の一升一瓶を始め計5種目を競い合いました。親子共々声を掛け合い、優勝目指して真剣勝負。最後のリレーは子どもも大人も全力疾走。「お父さん頑張ってください!」「行け行け!」と歓声や笑顔が絶えませんでした。



奉仕作業

9月3日(土)大岡小にて奉仕作業が行われました。

暑い中での作業でしたが、6年生と保護者総勢153名が参加し、草木の剪定・汚泥すくい・校舎内の清掃など普段なかなかできない場所を中心に清掃作業に励みました。気持ちよく過ごせる大岡小になりました。



大岡中学桔梗祭・体育の部

令和4年9月17日(土)、第75回大岡中学校桔梗祭体育の部が2年振りの全校開催で実現しました。

スローガンは、友と「縁」伝統の「伝」花束のようにそれぞれの個性を出すの「花」の一文字を取った『縁伝花』まさしくスローガン通りに一致団結していました。

結果は赤軍「1120点」白軍「955点」で今年は赤軍の勝利でした。

今年の体育祭も伝統を引き継いだ沢山の「大中魂」を見せてくれた子ども達がまた一段と成長したように思います。



大岡中学桔梗祭・文化の部

令和4年9月30日(金)大岡中体育館にて文化祭が行われました。昨年は学年毎でしたが本年度は3年ぶりとなる全校での開催。

合唱ではどのクラスも日頃の練習の成果を発揮し、素晴らしい歌声を響かせていました。

一クラス歌い終わる度に昨年にはなかった全生徒からの盛大な拍手が響き、気持ちの良い発表になりました。

また3年生の合唱を聞いた1・2年生は「パートごと声が出ていてすごい」「体を揺らし気持ちを込めて歌っている」と感動していました。午後は吹奏楽部の演奏の「マツケンサンバ」では先生の踊りのサプライズもあり、笑いと手拍子で大盛り上がりでした。体育館中が学年を越えて一体となり、一人一人が全力を尽くし「一生懸命がかっこいい」を証明してくれた大中生でした。



木瀬川子ども会・ハロウィン

令和4年10月木瀬川子ども会ではコロナ禍で遊ぶ機会が少ないなか、子供会の活動が地域の皆様にも少しでも理解して頂く為に企画しました。

爽やかな天候に恵まれ「ハロウィンスタンプラリー」が行われ、公民館→光栄堂→坂下公園→八幡神社を回って各チェックポイントにて色々なことにチャレンジしてスタンプを集めて景品を頂きました。



ハロウィン・イベントの為に衣装は任意で行って地域の方に迷惑ならない程度で楽しいひとときを過ごしました。



日吉子ども会・熱気球搭乗体験

令和4年10月29日(土)大岡南小学校で熱気球の搭乗体験が行われ、約200人が上空からの景色を楽しんだ。

コロナ禍で子どもたちが参加できるイベントが少なくなる中、地域との交流を増やそうと日吉子ども会が企画したもの。気球の高さは15mまで上がり、子どもたちは普段見る事の出来ない上空からの景色を楽しんだ。また搭乗の待ち時間を利用し、大岡社会福祉協議会の協力の元88歳になるお年寄りへのメッセージも書き、地域とのコミュニケーションをはかる事ができた。



連合自治会

発行/大岡コミュニティ推進委員会 編集/広報部

発行責任者/上田素行

問合せ/大岡地区センター・事務局 沼津市大岡2357-1 TEL 055-924-0299

発行部数/8,300部

大好き大岡 URL <http://www.e-ohoka.com/>